



川東小だより



第10号

令和6年2月15日

新発田市立

川東小学校

子どもたちの様子から

校長 岡崎 功一

1月下旬から2月初旬にかけてインフルエンザ、コロナウイルス感染が広がり、感染拡大予防のため、学級閉鎖、休校の措置を取らせていただきました。急なご連絡にもかかわらず、お迎えや閉鎖等の対応をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。今は、感染状況も落ち着きつつありますが、今後、また感染拡大の恐れもあります。感染予防に配慮しながら教育活動に取り組んで参りたいと思います。よろしくお願いします

さて、3学期が始まってから1ヶ月余りが経ちますが、川東小学校では、いろいろな行事に取り組み、子どもたちも頑張りをを見せています。以下に紹介したいと思います。

まずは、スキー教室です。高学年は、1月25日に行いました。当日は、悪天候で時間帯によっては吹雪いて厳しい時間帯もありましたが、さすが、高学年です。そのような状況の中でもたくましく滑っていました。指導者の話をよく聞いてそのとおりに滑ろうという姿勢が伝わってきました。1日のレッスンでしたが、またスキーの腕を上げることができました。一方、中学年は、快晴に恵まれました。4年生は、去年経験していますが、3年生は、スキーをするのは、ほとんどの子どもが初めてでした。午前中は、スキー靴を履くところから始まり、雪上での歩行、スキー靴の着脱の練習、緩やかな斜面でスキーを横にして登って滑り降りてくる練習をしました。午後には、リフトに乗って滑り降りてくることのできるまでになりました。高学年は荒天の中、中学年は快晴の中でしたが、子どもたちは、それぞれに充実したスキー体験をすることができました。



スキー教室に開催にあたり、多くの地域、保護者ボランティアの皆様のご協力と自治連合会のご援助がありました。おかげをもちまして充実した活動ができました。ありがとうございました。

もう一つ紹介します。1月22日～26日にかけて、「心をこめてあいさつをしよう」週間の取組をしました。内容は、同じクラスの人、家族、それ以外の人にあいさつをしたら、それぞれの木にシール貼っていく取組です。最後の日には、それぞれの木がシールでいっぱいになりました。私も、朝、児童玄関前に立って、子どもたちへあいさつをするようにしています。あいさつの仕方は、その子その子なりにそれぞれです。大きな声であいさつをする子、あいさつをしながらにこっと笑顔になる子、声の大きさはおさえながらも必ずアイコンタクトをする子など、どんなあいさつでも清々しさを感じます。これからも、川東小学校に挨拶の音が響くようにしていきたいと思います。



今年度も残すところあと1か月余りになりました。1年間のまとめの時期に入りました。今年度を振り返りながら、来年度につなげられるように教育活動を進めてまいりたいと思います。